

古河歴史見聞録

クルーゼンシュテルンの日本図 特別展「鎖国時代 海を渡った日本図」より

ロシア使節レザノフの長崎来航

文化元(1804)年9月、鎖国下の長崎港にロシア国から遣日使節レザノフが国交を求めて来航しました。船の名前はナジエジダ号、艦長はクルーゼンシュテルンなる人物。突然のロシア船来航に、幕府は大いに紛糾します。

レザノフは、寛政4(1792)年根室(北海道)に来航した最初の使節に続く第二次使節で、このとき漂流民の大黒屋光太夫らを送還して日本との通商を求めた第一次使節ラックスマンが入手した長崎への入港許可証(信牌)を持参して来ました。すなわちレザノフ一行は、公式の入港証を持参して仙台出身の漂流民たちの送還とともに日本との国交樹立を求めてきたのです。ペリー来航より約50年前のことでした。

幕府の対応と北方の緊張

さて、レザノフに対する幕府の態度は、彼らを出島に半年間留め置いた後、一方的に国外退去を命

じるというもので、予想どおり、彼らが大いに憤慨させました。このようなレザノフへの対応はときの老中で古河藩主土井利厚の主導によるものとされます。

文化3(1806)年およびその翌年、レザノフ配下のフヴォストフらは、長崎の非礼に対する仕返しとして樺太および択捉島の日本人を武力で襲撃しました(文化露寇事件)。報復の連鎖は続き、文化8(1811)年、日本側はロシア海軍ディアナ号艦長ゴロウニンを捕縛しています。ゴロウニンは、千島列島測量の任務中、国後島で囚われの身となったのです。

その翌年、ディアナ号副艦長リコルドが廻船業主の高田屋嘉兵衛を拿捕するなど、北におけるロシアとの緊張関係は増大の一途をたどり、高田屋嘉兵衛やリコルドらの尽力もあって、フヴォストフ事件におけるロシア政府の関与がないことの証明がなされて、人質交換の上で平和裏に決着をみることになりました。

クルーゼンシュテルンの日本図

さて、今回紹介する図版は、現在当館で開催中の特別展「鎖国時代 海を渡った日本図」に出陳中の「日本帝国図」および「千島列島図」という地図です。前者は、19世紀初頭のヨーロッパで作製された日本図の最高傑作とされる代物で、その後のヨーロッパでたいへん普及しました。いずれも作者は、エストニア出身の探検家クルーゼンシュテルン、第二次ロシア遣日使節レザノフを連れて来航したナジエジダ号の艦長です。彼は、当時ヨーロッパに伝来していた「改正日本輿地路程全図」(先月号の図版参照)に自らの測量成果を照合し、最新の日本語地名の研究成果を加えて「日本帝国



▲「日本帝国図」近畿大学中央図書館所蔵



▲「千島列島図」近畿大学中央図書館所蔵

図」を完成させました。ちなみに「千島列島図」右下枠内に表記されている国後島・択捉島図は、1811年のゴロウニンの測量成果を採用したもの、すなわち彼らが捕縛されたときの成果を採用した地図です。

ゴロウニン幽囚中、蝦夷地に派遣された優秀な日本人洋学者たちは、彼らからロシア語のみならずさまざまな技術を学び、皇帝ナポレオンの登場やヨーロッパ政治情勢などの情報を得ています。いわゆる鎖国の時代、北方では、すでにこうした異文化交流が行われていたのです。

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦

【一般書/小説】 わるもん

須賀ケイ 著
硝子職人の父はいつの間にか「箕島家」からとり除かれてしまった。あるときから純子は父の「コンセキ」を辿り始め…。日本のどこかに暮らす両親・三姉妹のちょっとゆがんだ愉快的日々を描く。第42回すばる文学賞受賞。
出版社…集英社

【児童書/文学】 おおあたり!

もとしたいづみ 作
福引券をもらった、だいくんと妹のまなちゃん。だいくんが欲しいのは自転車で、まなちゃんが欲しいのはフルーツパーラーのチケットです。ふたりが「当たりますように!」と願いながら、福引を引くと…。
出版社…小峰書店

図書館の本棚から

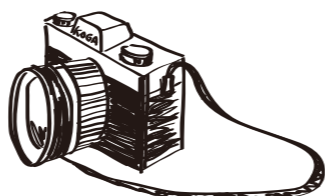


つつみ公民館

【一般書/姓氏】
日本人のおなまえっ!
日本人がわかる名字の謎
NHK番組制作班 編
羽生善治さんと羽生結弦さんはなぜ? 超レア名字、超難読名字、あっと驚く由来の名字を集めた傑作選。興味深いエピソードを多数紹介する。
出版社…集英社インターナショナル

【絵本】
うかいのうがい
さくらせかい 作
ケガをした5羽のうたちを助けたハンさんは、うたちに魚のとりかたを教えますが、うまくとることができません。何度も教えたので、のどを痛めてしまったハンさんが、がらがらうがいをはじめると…。
出版社…ブロンズ新社

古河 今昔物語 Time Travel Photograph



提供:三和資料館



昭和41年に撮影された谷貝谷千代橋付近の風景です。当時は交通量の多い現在とは違い、松の木が立ち並ぶのどかな風景が広がっていました。

【募集】このコーナーに掲載する昔の総和地区の写真を探しています。お持ちの人は☎シティプロモーション課(TEL92-3111)までご連絡ください。